

「第十六改正 日本薬局方」の訂正

ご購入いただきました「第十六改正 日本薬局方」（2011年4月発行）に下記の誤りがありました。お詫び致しますとともに、訂正下さいますようお願い申し上げます。

訂正箇所（頁数）	誤	正
エカベトナトリウム顆粒 溶出性 欄 (441 頁左段 2 行目)	エカベトナトリウム水和物 ($C_{20}H_{27}NaO_5S \cdot 5H_2O$) の表示量に対する溶出率 (%) $= M_S / M_T \times A_T / A_S \times 1 / C \times 4500 \times 1.224$ M_S : 脱水物に換算した定量用エカベトナトリウム水和物の秤取量 (mg) M_T : 本品の秤取量 (g) C : 1 g 中のエカベトナトリウム水和物 ($C_{20}H_{27}NaO_5S \cdot 5H_2O$) の表示量 (mg) <u>を行うとき、適合する。</u>	エカベトナトリウム水和物 ($C_{20}H_{27}NaO_5S \cdot 5H_2O$) の表示量に対する溶出率 (%) $= M_S / M_T \times A_T / A_S \times 1 / C \times 4500 \times 1.224$ M_S : 脱水物に換算した定量用エカベトナトリウム水和物の秤取量 (mg) M_T : 本品の秤取量 (g) C : 1 g 中のエカベトナトリウム水和物 ($C_{20}H_{27}NaO_5S \cdot 5H_2O$) の表示量 (mg) <u>を行うとき、適合する。</u> (削除)
メチルドバ錠 確認試験 欄 (1324 頁右段 6 行目)	紫外可視吸光度測定法 <2.41>	紫外可視吸光度測定法 <2.24>
ワルファリンカリウム錠 確認試験 欄 (1438 頁右段 18 行目)	(1) 定量法の T_2 液につき、0.02 mol/L 水酸化カリウム試液を対照として紫外可視吸光度測定法 <2.24>により吸収スペクトルを測定するとき、波長 306~310nm に吸収の極大を示し、258~262nm に呼吸の極小を示す。	(1) 定量法の T_2 液につき、0.02 mol/L 水酸化カリウム試液を対照として紫外可視吸光度測定法 <2.24>により吸収スペクトルを測定するとき、波長 306~310nm に吸収の極大を示し、258~262nm に吸収の極小を示す。
コウイ 確認試験 欄 (1482 頁右段 28 行目)	確認試験 本品 0.50mg を正確に量り、水/メタノール混液 (1:1) に溶かして正確に 50mL とし、試料溶液とする。	確認試験 本品 0.50g を正確に量り、水/メタノール混液 (1:1) に溶かして正確に 50mL とし、試料溶液とする。
芍薬甘草湯エキス 確認試験 欄 (1510 頁右段 16 行目)	確認試験 (1) 重金属 <1.07> 乾燥エキス 1.0 g (軟エキスは乾燥物として 1.0 g に対応する量) をとり、エキス剤 (4) に従い検液を調製し、試験を行う (30ppm 以下)。	純度試験 (1) 重金属 <1.07> 乾燥エキス 1.0 g (軟エキスは乾燥物として 1.0 g に対応する量) をとり、エキス剤 (4) に従い検液を調製し、試験を行う (30ppm 以下)。
チョコレイ末 生薬の性状 欄 (1544 頁右段 35 行目 ~36 行目 / 下から 14 行目~13 行目)	生薬の性状 本品は淡灰褐色～淡褐色を呈し、わずかににおいがあり、味はわずかに苦く、かめば細かい砂をかむような感じがある。	生薬の性状 本品は淡灰褐色～淡褐色を呈し、ほとんどにおいがなく、味はわずかに苦く、かめば細かい砂をかむような感じがある。